

日付 : 平成28年10月15日(土) 15:00~16:40

出席者 : 小林、矢作、伊藤、佐藤、成田、田口、川辺、小池、飯島、永富、名畑、関根、
敬称略 安味元顧問、白旗顧問、現役:岩田、新井山、他12名、役員以外のOB 25名
詳細は「東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会総会参加者名簿」参照

場所 : 東京都市大学 1号館 12K 教室

テーマ : 28年度OB会総会

1. 会長挨拶 小林 俊朗 会長
2. 議長選出 小林会長を選出
3. 議事

(1)平成27年度活動報告 小林 俊朗 会長

- ・今年度はOB総会を行うため、28年度山小屋OB会は中止したが、現役の山小屋ワークにあわせ、会長含む3名のOBがワーク支援活動を実施。
- ・OB会検討委員会(27年12月~28年7月 計6回)を実施。OB会の目的、運営、人事や人選方法、山小屋管理、OB会則などについて、討議を行ってきた。

(2)平成27・28年度および60周年式典 会計報告 伊藤 孝浩 事務局長

- ・別添資料①「平成27・28年度および60周年式典会計報告」参照

○質疑

- ・奥村(S43):会費支払いが93名だが、未納の人の扱いは。→未納のOBが多い問題も含め検討する。
 - ・小西(S43):当時、永久会員として15,000円支払い済み。その扱いはどうなっているのか。→検討する。
 - ・本間(S38):永久会員の資料が残っていないので、把握するのは困難では。役員で調査して対応を考えてほしい。→調査を行う。
 - ・野々山(S35):当時、活動費が不足しており集めた事実はある。ただ資料が残っていないので、リセットする方向でお願いしたい。会長名で真摯な文章で依頼するなど必要。→検討する。
- 柿野屋印刷に未納があったが、今後発生しない管理運営をお願いする。
- ・(不明):OB会費と現役の部費の境がはっきりしていない印象がある。

○結果 「承認された」

(3)OB会則改定提案と説明 矢作 正行 副会長

- ・別添資料②「OB会則改定内容」「ワンダーフォーゲル部OB会則(改定案V5)」参照

○質疑

- ・野々山(S35):会則に東横学園の扱いがないが、どうする方向か。
→OG会がなく、連携するすべがないと判断した。検討事項にする。
- ・早川(S41):OB会の支援として、事故対策に関して具体的に記載しては。
7条「脱会」の表現は変更しては。→変更する。
8条 終身名誉会長として野々山氏を追加してほしい。→本人より辞退。
11条 総会を3年に1度ではなく、毎年にしては。→検討する。
26条 OB会で山小屋の維持管理はできないのでは。→費用支援やワークなど可能です。

○結果 「承認された」

(4)今年度 OB 会費の説明 伊藤 孝浩 事務局長

・別添資料③「OB 会費検討資料」参照

年間費用内訳を報告し、年会費として3千円を提示する。

○質疑

・(不明):OB 会費を払った人だけ、かたつむりを送るなど運用を見直しては。→検討する。

○結果 「年会費3千円」が「承認された」

(5)OB 会役員改定、新役員選出 小林 俊朗 会長

・別添資料⑤「新役員担当・役割分担」参照

・会長候補:佐藤

その他役員候補:成田、田口、川辺、小池、飯島、永富、名畑、関根 監査候補:船越

○質疑 特になし

○結果 「承認された」

(6)今後の活動方針 佐藤 光司 新会長

○佐藤新会長より下記について説明

・別添資料④「WV 部 OB 会 新会長挨拶 佐藤光司(通信 28)」参照

要旨

- ・期の連絡員(役員が兼任)として年代別に7つの期に分け、その中から新役員を選出した。
- ・3人で運用してきた現体制を9人へ拡大、負荷の分散と幅広い年代の意見を収集する体制に。
- ・今後の役員分担については、8条の会則を変えることがある。
- ・次期役員の養成を前提として、若い人になるべく指揮をしてもらう。

○質疑 特になし

○結果 「了承された」

4. 閉 会

懇親会(17:00~18:50) 場所 1号館4階 ラウンジオークにて

司会	永富 修
初代会長挨拶	野々山 浩司
新会長挨拶	佐藤 光司
乾杯 顧問	白旗 弘美
現役活動報告	岩田主将
トピックス紹介	有志
ご挨拶	安味先生
歌斉唱	校歌、ワングルの歌など

東京都市大学ワンダーフォーゲル部 OB 会総会 参加者名簿 (敬称略)

OB No.	卒部年	氏名	総会参加	懇親会
	元顧問	安味 貞正	○	○
	顧問	白旗 弘実	○	○
1	昭和35年卒	野々山 浩司	○	○
35	昭和38年卒	成田 豊興	○	○
36		上野 潔	○	○
38		佐藤 光司	○	○
40		清水 俊介	○	○
43		古賀 龍三	○	○
44		安藤 一	○	○
46		本間 久	○	○
50	昭和39年卒	重田 哲朗	○	○
53		東島 義澄	○	○
71	昭和40年卒	西岡 南弥	○	○
85	昭和41年卒	早川 忠雄	○	○
93		土子 肇	○	○
116	昭和43年卒	上田 善弘	○	○
118		小西 邦夫	○	○
119		奥村 敦	○	○
124		高橋 悌三郎	○	○
125		箭内 連	○	○
127	昭和44年卒	田口 哲雄	○	○
144	昭和45年卒	城所 孝司	○	○
145		岡田 俊夫	○	○
148		久保田 守志	○	○
157	昭和47年卒	小林 俊朗	○	○
163	昭和48年卒	川辺 和夫	○	○
174	昭和50年卒	中馬 義則	○	○
180	昭和51年卒	矢作 正行	○	○
196	昭和54年卒	小池 精一	○	○
230	昭和59年卒	大杉 透	○	○
232		原田 岳司	○	○
242	昭和61年卒	森 秀雄	○	○
247	昭和62年卒	伊藤 孝浩	○	○
252		石川 洋一	○	○
260	平成元年卒	飯島 五郎	○	○
267	平成04年卒	永富 修	○	○
297	平成10年卒	井戸上 達	○	○
307	平成13年卒	名畑 泰宏	○	○
360	平成28年卒	関根 明日香	○	○
現役	4年	松平啓佑	○	○
現役	3年	岩田竜輝	○	○
現役	3年	新井山信	○	○
現役	3年	聖生航大	○	○
現役	2年	川原亮喜	○	○
現役	2年	荒井貴文	○	○
現役	2年	佐々木啓介	○	○
現役	2年	杉江真一郎	○	○
現役	2年	塚本岳杜	○	○
現役	2年	西田貴博	○	○
現役	1年	泉泰成	○	○
現役	1年	山田拡人	○	○
現役	1年	智原匡紀	○	○
現役	1年	小原昌悟	○	○

以上

平成27年度 東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会 会計報告			
平成27年4月1日 ~ 平成28年3月31日			
			(単位:円)
収入		支出	
名 称	金額	名 称	金額
前年度繰越金	¥1,039,592	通信費	¥34,932
利子	¥162	かたつむり作成費用	¥272,780
平成27年度OB会費 3000円×93名	¥279,000	かたつむり補填代	¥436,698
フォトブック収益金	¥14,822	山小屋補修費	¥127,054
		60周年記念式典補填費	¥188,707
総収入	¥1,333,576	総支出	¥1,060,171
繰越金		¥273,405	

60周年記念式典（平成27年11月28日） 会計報告			
(単位:円)			
収入		支出	
名 称	金額	名 称	金額
参加費	¥480,000	式典料理代	¥600,108
内訳			
東京都市大WV: 参加費5000円×93名=465000円		通信費	¥62,954
東横学園大WV: 参加費5000円×3名=15000円		DVD作成費用	¥19,582
		フォトブック代(見本)	¥23,474
寄付金	¥291,000	式典準備費(資料等)	¥28,095
関 博 様		銘板代	¥95,575
吉田 重幸 様		贈呈品(リュック)	¥54,000
吉田 勝 様		贈答品(フォトブック)	¥15,919
本多 貞子 様		贈答品(絵画)	¥50,000
本多 芳久 様			
白旗 弘実 様		式典司会御礼代(OB神田さん)	¥10,000
野々山 浩司 様			
松崎 栄一 様			
岡田 満夫 様			
西岡 南弥 様			
高橋 佑太郎 様			
板橋 政雄 様			
内藤 俊之 様			
OB会補填費	¥188,707		
総収入	¥959,707	総支出	¥959,707
残金		¥0	

平成28年度 東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会 会計報告			
平成28年4月1日 ~ 平成28年9月30日			
			(単位:円)
収入		支出	
名 称	金額	名 称	金額
前年度繰越金	¥273,405	通信費	¥32,240
		山小屋補填費	¥70,000
総収入	¥273,405	総支出	¥102,240
繰越金		¥171,165	
上記の通り、報告いたします。		平成28年10月15日	会計 伊藤孝浩
監査の結果、上記報告書に間違いのないことを報告いたします。		平成28年10月15日	会長 小林俊朗

OB 会費検討資料

項目	金額	備考
山小屋借地代	70,000	借地代69400+振込手数料
山小屋補修費(毎年)	60,000	山小屋Workでの補修費として現役に渡す。残金は現役で管理する。
通信費:OB会費徴収	40,000	送付対象のOBを300名と想定
通信費:OB会開催	30,000	送付対象のOBを300名と想定
予備費	50,000	OB会補填など
山小屋補修費(長期:積立)	100,000	10年毎くらいに発生する大掛かりな補修のための積立: 10年間で100万円を目標
かたつむり代(積立)	100,000	3年毎に発行するかたつむり費用(約30万円)のための積立: 3年間で30万円
合計	450,000	

OB 会費の算出：450,000 円（年間必要経費） ÷ 150 名（納入想定 OB 人数） = 3,000 円

資料② 10/15 矢作作成

平成28年10月15日 検討委員会

OB会則改定内容

昭和56年版のOB会則を、今回、検討委員会で見直しを行いました。

1. 校名変更
 - ・大学名が東京都市大学に変更になったことから、会則名および関連事項を改定した
2. 総則
 - ・実態に合わせ、具体的な内容に変更した。本部が明記されていたが、削除した
3. 役員構成
 - ・幹事長(幹事会)をなくし、役員会とした。役員の数を増やし、広い年代からの参加を想定した
 - ・役員会は年1回以上開催する事を明記した
4. 総会
 - ・総会の開催時期を3年に1度とした。総会で都度OB会費を決定することにした
5. 会計
 - ・会計年度を明記した。(4月から翌3月末)
 - ・会計報告を年1度行う。また、会計および監査役を設けた
6. 連絡員
 - ・「支部」を廃止し、卒業年度ごとに「連絡員」をお願いする
7. じんじろげ小屋
 - ・じんじろげ小屋に関し、現役とOB会の役割を明確にした
8. 褒賞
 - ・今回新たに、褒賞の規定を追加した

以上

東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会則（改定案 V5）

第一章 総則

第1条 本会は、「東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会」と称し、その本部は会長宅とする。

第2条 本会の目的を以下とする。

- ・会員相互の親睦をはかる
- ・現役の活動を支援する
- ・じんじろげ小屋の維持管理を支援する。

第二章 会員及び組織

第3条 本会の会員は、東京都市大学及び武蔵工業大学ワンダーフォーゲル部を卒部したものと及び、これに準ずるもので構成する。

第4条 本会会員は、総会決定事項、会長の執行並びに役員会の決定事項に対し遵守するとともに、会員相互の連絡の交流に努めることを要す。

第5条 本会は、会の運営にあたり総会、役員会をおく。

第6条 会員は、所定の会費を納めるものとする。

第7条 会員が死亡した場合は、脱会したものとみなす。

第三章 役員及び監査役

第8条 本会には下記の役員及び監査役をおく。

顧問	1名
会長	1名
副会長	2名
会計	1名
総務	若干名
監査役	2名

第9条 役員及び監査役は総会において選出され、その任期は3年とする。

但し、再任を妨げない。

第10条 役員に欠員が出た場合は、補欠の役員を選任するものとする。

但し、役員会で事務に支障なしと認めた時はこの限りではない。

補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

第四章 総会

第11条 総会は本会における最高決議機関であり、3年に1度の定期総会その他役員会がこれを必要と認めた時、及び在籍会員の5分の1以上の要求があれば臨時総会として開かれる。会長がこれを召集する。

第12条 総会は役員及び監査役の選出、会務、会計の承認、役員会の提案事項の決定その他をおこなう。

第13条 総会は出席者をもって成立し、その決議は出席者の過半数を必要とする。但し、会則を変更する時は出席者の3分の2以上の賛成を必要とする。

第五章 顧問、会長、役員会

- 第14条 顧問は東京都市大学ワンダーフォーゲル部顧問がこれに当たり、本会運営の相談にあたる。
- 第15条 会長は本会を代表し、本会の会務を総轄し本会会務の執行にあたり責任を負う。
会長にやむをえない事情があるときは、副会長がその任務を代行する。
- 第16条 役員会は本会会員を代表する代行決議機関であり、その決議は総会に次ぐ効力を有すると共に本会会務を会長の名をもって執行運営にあたる。
役員会は役員2分の1以上の出席で成立し、その決議は過半数を必要とする。
役員会は会長が召集し年1回以上必要に応じ開催する。
- 第17条 役員会は総会の決議事項を執行する事を要す。
但し、総会決定事項に反しない限度で自由なる裁量をもって運営にあたる事ができる。
- 第18条 役員会はその任務遂行にあたり、必要に応じて委員を任命し、これらにあたらせることができる。
- 第19条 会員は役員会に出席し意見を述べる事ができる。
- 第20条 役員会は現役より重要な提案を受け取った場合、ただちに検討しその旨を全会員に報告しなければならない。

第六章 会計

- 第21条 本会の会計は会員より納付される会費及び寄付金によりまかなわれる。
その管理、使用は役員会がおこなう。
- 第22条 年会費は総会で決定し、会員はこれを納入する事を要す。
- 第23条 会計年度は毎年4月1日から翌年の3月31日とする。
- 第24条 会計報告は年1回行い、監査役が会計監査を行い、役員会の承認を得なければならない。

第七章 連絡員

- 第25条 卒業年度ごとに1名、連絡員をおく。
(1) 連絡員に指名されたものは、本会からの依頼事項等を会員に通知及び周知する。
(2) 必要に応じて、会員からの意見聴取を行う。

第八章 じんじろげ小屋

- 第26条 じんじろげ小屋はOB会・現役の親睦及びワンダーフォーゲル部活動の場とする。
(1) じんじろげ小屋は本会及び現役共同で維持管理をおこなう。
(2) 本会はじんじろげ小屋の維持管理に必要な費用を支援する。
(3) 細則は「山小屋規則」に定める。

第九章 褒賞

- 第27条 役員会の決議で、本会の運営に多大なる貢献をした者を褒賞することができる。
褒賞は、会長が行う。

付則

- 第28条 本会則は昭和56年4月1日より実施する。
本会則は平成28年10月15日に改定する。

WV 部 OB 会 新会長挨拶 佐藤 光司(通信 38)

2016.10.15

若返ることを前提に、検討を始めたようですが若い人から就任頂けなかったの、小林会長から推薦を受けて短期間でお引き受けしました。私の決めたことは

1. 期の幹事会の区切りをVI期 H08～H24 にVII期 H25～にして、武蔵工業大学卒と東京都市大学に分けた。
2. 組織の運用をどうするか、まだ、未定であるので会則は再度検討し、来年度までに確定する。
3. 現役は WV 部年間活動計画表を2月末までに提出。OB 会を含めて年間計画表として3月末まで作成。
4. 役員会は、4月、7月、12月に原則開催する。当日の交通費・食事等は実費を支給するものとする。
5. 次期の役員を養成前提として、若い人になるべく指揮をしてもらう。

従来、幹事会(各年度ごとに幹事を選出)があったが、これを、期の連絡員(役員が兼任)として年代別に7つの期に分け、その中から新役員が選出された。その後、2回ほど検討会を実施し、3人で運用してきた現体制を9人で当面引き受けることになりました。まずは、各人できることからお願いしたい。知恵を出す方は、積極的に参加して作業をする。参加できなくても資金的に支援していただく方、いろいろ意見のある方の情報を集めて、役員会に反映するようお願いいたします。

区切	卒業年度	OB No.	総数	生存	連絡	出	欠	不明	期の連絡員(役員兼任)	備考
I	S35～S39	001～066	66	49	44	9	18		成田 豊興	武蔵工業大学
II	S40～S43	067～126	60	53	50	6	24		田口 哲雄	
III	S44～S50	127～177	51	46	38	6	13	1	川辺 和夫	
IV	S51～S58	178～226	50	47	37	2	7	1	小池 精一	
V	S59～H07	227～284	57	56	49	1	15	1	永富 修	
VI	H08～H24	285～338	54	54	44	1	8	7	名畑 泰宏	
VII	H25～	339～	30	30	29	1	9	9	関根 明日香	東京都市大学
計			378	335	294	33	94	19		

新役員担当・役割分担

資料⑤ 10/15 佐藤作成

役職	担当	ミッション	分類	業務
顧問	白旗 弘美	運営相談を受ける		東京都市大学ワンダーフォーゲル部顧問として、大学側と連絡・調整をする
会長	佐藤 光司 (S38)	会の代表・責任者 緊急時の意思決定		外部組織との契約
副会長	永富 修 (H04)	組織全体の管理	年間計画 遭難積立金	年間計画を立てる 現役対策 遭難積立金の計画
副会長	田口 哲雄 (S44)	会長不在時の代理 山小屋関連業務担当	相互調整 山小屋貸出	総会・山小屋OB会・各種会議の調整と連絡 問題点の指摘と小屋の使用状況の管理
			山小屋維持	現役 小屋の使用状況の管理 部材の見積もり、手配、山小屋維持のための積立金
			OB会・親睦	現役担当 山小屋偵察報告書の作成、山小屋の整備 参加者の集計、確認、当日の買い出し、準備 送迎手配、補助、当日の司会進行
総務 4名	成田 豊興 (S38) 川辺 和夫 (S48) 小池 精一 (S54) 名畑 泰宏 (H13)	会員への事務連絡	山小屋維持 OB会・親睦	現役 要修繕箇所の確認の報告、支部の設立 総会の企画・開催案内文書作成・会則の見直し 山小屋OB会の企画、開催案内文書作成 OB会開催企画・案内文書送付
			名簿管理	連絡先確認依頼文書作成・郵送 会員名簿の更新と情報管理
			かたつむり関係	発行回数、内容検討、かたつむりの編集、発送業務 発送先の名簿作成、同封する挨拶文の作成・準備
会計 2名	飯島 五郎 (H01) 関根 明日香 (H28)	予算管理、実績監理	予算管理 会費徴収	年間計画に基づき予算計画を立てる 会費振込依頼文書作成、振込票発行、郵送 銀行口座(会費の納入状況)チェック
			年度報告	実績報告をする
会計監査 2名	船越 靖彦 (S41)	年間計画の実施監査	実績監理 証票チェック	業務内容のチェック 会計諸表のチェック
相談員		現役の山行計画	計画チェック	現役の計画に対するコメントと指導
				* 現役と連携する項目